

令和4年9月後半分青果物使用品名と産地(9/12～9/30)

～生産（地）の状況～

各地での酷暑，線状降水帯等での降水量の増加などが原因で野菜の生育不良が見受けられる。結果，市場への野菜入荷も少ないが，それでも需要があるため，早期収穫(小さい)で対応している現状。

今後，夏秋野菜から秋冬野菜へ移行する中で少しずつ安定していくかと推測する。

No	品名	産地
1	じゃがいも	北海道産
2	さつまいも	九州産
3	人参	北海道産
4	キャベツ	県内・群馬産
5	玉ねぎ	北海道産
6	もやし（小）	熊本市産
7	もやし（サリナス）	大分産
8	ピーマン	県内産
9	パプリカ（赤・黄）	九州産
10	トマト	県内産
11	ミニトマト	県内産
12	胡瓜	県内産
13	ごぼう	鹿児島・宮崎産
14	青葱	熊本市産
15	白葱	九州産
16	小葱	九州産
17	チンゲン菜	県内産
18	小松菜	熊本市産
19	にら	県内産

No	品名	産地
20	パセリ	熊本市産
21	セロリ	長野産
22	いんげん	九州産
23	レタス	長野産
24	洗いレンコン	熊本市産
25	白菜	長野産
26	大根	県内・北海道産
27	なす	県内産
28	ニンニク	青森産
29	生姜	県内産
30	南瓜	北海道産
31	えのきだけ	長崎産
32	本しめじ	福岡産
33	エリンギ	長崎産
34	冬瓜	九州・岡山・愛知産
35	水前寺菜	県内産
36	バナナ	フィリピン産
37	梨	熊本市産
38	巨峰	大分産

食材の主な産地が、原子力災害対策本部が出した「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」の対象(放射性物質検査対象地域)自治体1都16県のものには、食品中の放射性セシウムスクリーニング法(厚生労働省)に準拠して、本市においても検査を実施しています。

※検査結果は、不検出でした。(測定下限値はセシウム-134、セシウム-137合計で25Bq／Kgです。)

※産地は、天候等の影響で変更になる場合があります。